本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

P

USER'S GUIDE
2430*JA

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

CASIO

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

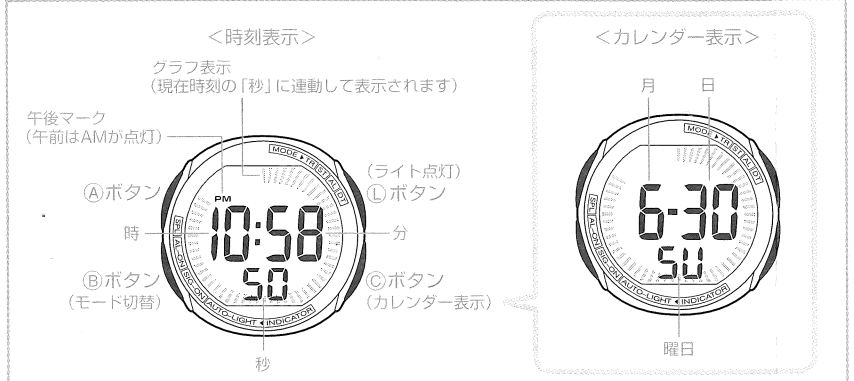
オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

操作のしくみと表示の見方

Ⓑ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

時刻モード



★カレンダー表示について

時刻モードでⒸボタンを押している間、カレンダー（月・日・曜日）を表示します。

★曜日の見方

SU：日　MO：月　TU：火　WE：水　TH：木　FR：金　SA：土

■ デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。
デモ表示では時計の機能の一部を自動的に表示し続けます。

※ デモ表示中はライト点灯以外の通常のボタン操作はできません。



●デモ表示の解除

Ⓛ ボタン以外のいずれかのボタンを押します。

●デモ表示の設定

Ⓑ ボタンを約２秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

Ⓑ

タイマーモード



Ⓑ

ストップウオッチモード



Ⓑ

アラームモード



Ⓑ

デュアルタイムモード



時刻・カレンダーの合わせ方　以下の操作は、時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■ 時刻・カレンダーのセット

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐ ボタンを約２秒間押します

➡「秒」が点滅します。



2.「秒」合わせ…30 秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて Ⓒ ボタンを押します

➡「00 秒」からスタートします。

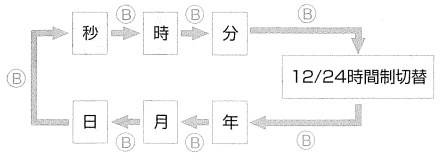
※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。



3.「時刻・カレンダー」合わせ

a. Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





b. Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※ 押し続けると早送りします。



a.～b. の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。

※「時」のセットのとき午前（AM）／午後（PM）、または24時間制（24H）にご注意ください。

※「12/24時間制切替」のときは、Ⓒ ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示とが切り替わります。

（・AM または PM が点滅しているとき＝ 12 時間制
・24H が点滅しているとき＝ 24 時間制）

※「年」は 00（2000 年）～39（2039 年）の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部には EL パネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けるだけで文字板が発光するオートライト機能もあります。

●ボタンを押して発光させる ～手動発光～

Ⓛ ボタンを押します

➡どのモード（表示）のときでも、文字板にある EL パネルが約２秒間発光します。



※ オートライトのON／OFFにかかわらず、Ⓛボタンを押すと発光します。

●時計を傾けて発光させる ～自動発光（オートライト）～

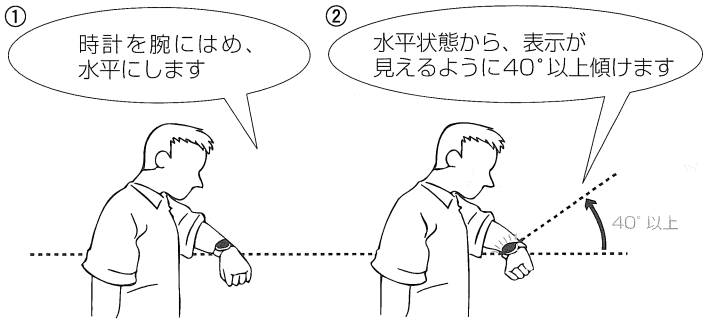
オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で時刻やストップウオッチの計測値などを見るときに大変便利です。

準備 時刻モードのときに Ⓛ ボタンを約２秒間押して、オートライトONマークを点灯させて「オートライトON」にします。

※ もう一度Ⓛ ボタンを約2秒間押すとオートライトONマークが消え、「オートライトOFF」になります。

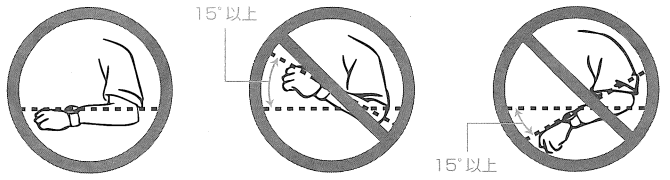


文字板を発光させる



※ オートライト機能を使用するときは、時計が「手首の外側」にくるようにつけてください。

※ このとき、文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



＜オートライトご使用時の注意＞

- オートライトが作動するのは、オートライトONマークを点灯させてから約６時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的にオートライトONマークが消え、オートライト OFF になります。
- ※ 引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓛ ボタンを約2秒間押して、オートライトONマークを点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約２秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときは OFF にしておいてください。
- ※ 時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが作動しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると、発光しやすくなります。

＜EL 発光についての注意事項＞

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にⓁ ボタン以外のボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは EL パネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

タイマーの使い方　Ⓑ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは１分単位で60分までセットできます。セットした時間を経過すると、10秒間の電子音とグラフ表示でタイムアップを知らせてくれます。

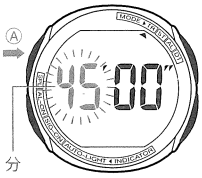
※ 工場出荷時および電池交換後は、タイマー時間が45分でセットされています。

■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモードのとき、Ⓐ ボタンを約２秒間押します

➡「分」が点滅します。



2. 点滅箇所のセット

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※ 押し続けると早送りします。

※ １分単位で60分までセットできます。



3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき、Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。

※ 計測は１秒単位で行ないます。

※ グラフ表示はタイマー時間の「分」に連動して表示されます。



★計測ストップ後Ⓐボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。

★ロスタイムがあるときは、Ⓒ ボタンでストップ後、もう一度Ⓒ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間の電子音とグラフ表示でタイムアップを知らせてくれます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

アラーム・時報の使い方　Ⓑ ボタンを押して、アラームモードにします。

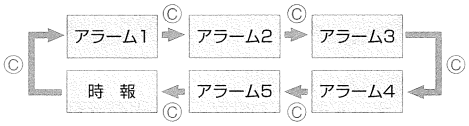
本機には、時分を設定できるアラームが５本あります。設定した時刻になると20秒間の電子音とグラフ表示で知らせてくれます。
また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

■ アラーム時刻のセット

1. セットしたいアラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。



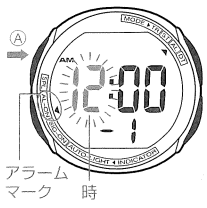


2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約２秒間押します

➡「時」が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。



3. セット箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

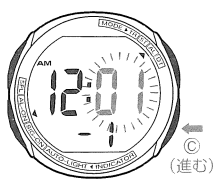


4. 点滅箇所のセット

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※ 押し続けると早送りします。



3.～4. の操作を繰り返して、「アラーム時刻」を合わせます。

※「時」のセットのとき午前（AM）／午後（PM）、または24時間制（24H）にご注意ください。

※ 基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

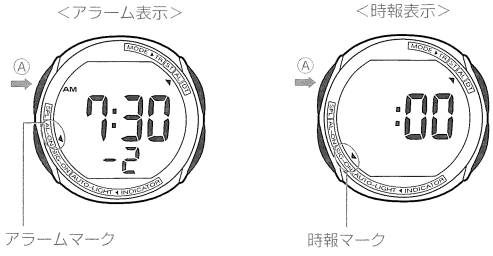
※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報の ON／OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓒ ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに、マークが点灯／消灯します。それぞれのマークが点灯しているときが ON となり、アラーム・時報が鳴ります。



■ 鳴っているアラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓒ ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

ストップウオッチの使い方

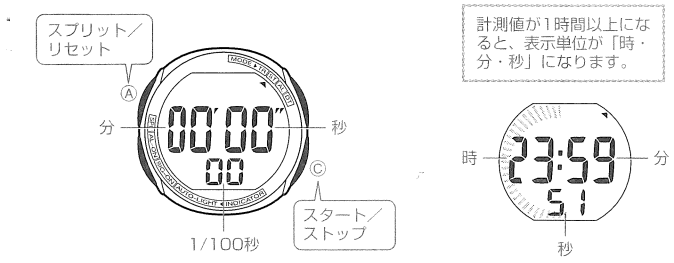
Ⓑボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位（1時間以上になると1秒単位）で23時間59分59秒（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。
※ 計測中はグラフ表示が表示されます。



★計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（スプリットマークが点灯）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
★計測終了後Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

●通常計測

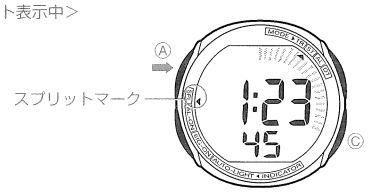
Ⓒ スタート → Ⓒ ストップ → Ⓐ リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒸボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓒ スタート → Ⓐ スプリット → Ⓐ スプリット解除 → Ⓒ ストップ → Ⓐ リセット

<スプリット表示中>



●1・2着同時計測

Ⓒ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓒ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット

デュアルタイムの合わせ方

Ⓑボタンを押して、デュアルタイムモードにします。

デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。

※ デュアルタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※ 基本時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイムも自動的に24時間制で表示されます。
※ グラフ表示はデュアルタイムの「秒」に連動して表示されます。

■ デュアルタイムのセット

デュアルタイムモードのとき、Ⓒ ボタンを押して、デュアルタイムを合わせます

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに30分ずつ進みます。
※ 押し続けると早送りします。
※ Ⓐ ボタンを押すと、基本時刻と同じ時刻でセットされます。



ご使用上の注意

防水性
● 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

● 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
● 防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド
● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度
● 自動車ダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
● ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック
● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因となります。

磁気
● 時計機能には影響ありません。ただし、本機自体が磁気を帯びたり、強い磁気を発するものの近くで使用すると、オートライトが作動しにくくなることがあります。

静電気
● 極度の静電気により誤った時刻を表示したり、電子部品が破損する場合があります。
● 静電気により一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがありますが、機能に影響はありません。

薬品類
● 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管
● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ お手入れについて

お手入れのしかた
● 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
● 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると
● **「サビ」**
  • ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
    ※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
  • 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
● **「劣化」**
  • 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
● **「かぶれ」**
  • 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
  • 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■ 電池交換について

最初の電池
● 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗
● 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
● 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換
● 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
● 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
● 電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

■ 液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

製品仕様

水晶発振周波数	32,768Hz
精度	平均月差±30秒以内
基本機能	時・分・秒、午前（AM）／午後（PM）／24時間制（24H）表示 月・日・曜日、フルオートカレンダー（2000～2039年）
タイマー機能	セット単位＝1分　計測単位＝1秒　計測範囲＝60分 タイムアップを10秒間の電子音で報知
ストップウオッチ機能	計測単位＝1/100秒（00分00秒00～59分59秒99のとき） 1秒（1時間00分00秒～23時間59分59秒のとき） 計測範囲＝23時間59分59秒（24時間計） 計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、 1・2着同時計測
アラーム機能	時刻アラーム　セット本数＝5本　セット単位＝時・分 電子音＝20秒間 時報　毎正時に2回電子音で報知
デュアルタイム機能	表示内容＝時・分・秒　セット単位＝30分
その他	自動復帰機能、12/24時間制表示切替、 EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト、 ELオートライト、モニターアラーム、デモ表示
主要回路素子	音叉型高性能水晶振動子　ワンチップCMOS-LSI
使用電池	CR-2016（電池別途販売）
電池寿命	約3年 （1日あたりライト2秒間、電子音を20秒間使用した場合） ※ ただし、ライト使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。 ・1日あたりライト10秒間使用…約2年2ヶ月 ・1日あたりライト20秒間使用…約1.9ヶ月